

【2010年4月1日から2014年7月31日までに当科で大腸CT検査を受けられた患者さんへ】

<大腸CT検査のトレーニングプログラムの標準化に関する研究>

当教室では、川崎医科大学・附属病院倫理委員会の承認を得て、2010年4月1日から2014年7月31日までに大腸CT検査を受けていただいた患者さんのCTデータを用いて、医師および放射線技師に対して読影トレーニングを行う観察研究を実施します。

当教室の調査実施期間は2014年9月8日から2020年11月30日の予定です。

1. 治療介入を伴わない、CTデータのみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集しません。
2. 研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。この研究課題を実施する関係者にはアステラス製薬、武田薬品工業、第一三共、大塚製薬、エーザイ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、味の素、ゼリア新薬工業、杏林製薬（株）、（株）ツムラ、Japan Gut Club、コビディエンジャパン（株）、EAファーマより奨学寄附金の受け入れがあるが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されている。また、検査用の機械、大腸CT検査用ファントムが、エーディアより無償レンタルするが、エーディアに都合のよい成績となるよう導いたりすることはありません。
3. 研究に関してご質問のある方、ご同意をいただけない方は下記までご一報くださいますようお願いいたします。

他の対象者に支障がない範囲内で計画書および資料を閲覧することができます。また、同意いただけない場合は研究対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問い合わせ先： 消化管内科学 松本啓志

電子メール： hmatsu3344@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL： 086-462-1111

FAX： 086-464-1194